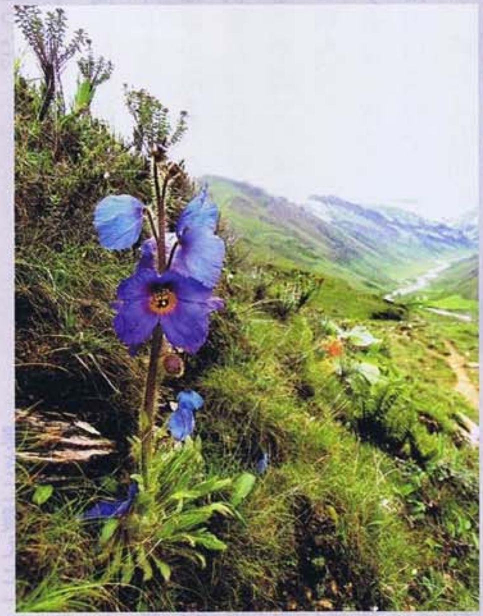
# 幸せの国・ブータンのメリーポピーたち ⑩ 花を求めてブータン紀行

松永秀和

## メコノプシス・ブータニカ



レディ・ラの北　標高 4370m

ツォ・プー　標高 4380m

スノーマントレックの西の入り口はパロである。パロから登山道の入り口、グニツァワまで車で行き、氷河から流れ出す灰緑色に濁ったパロ・チューに沿って歩き、２日間かけてチョモラリのベースキャンプ、ジャンゴタンに着く。ここを基点に青いケシを探す。まず、上部に小さな湖を二つ残すばかりとなっている東の氷河谷に入る。ツォ・プーだ。湖の手前に、崩落地がある。登ってみると、黒い大きな岩の間に、大柄の花をつけた青いケシが点々と咲いている。高さは40～60㎝、花の直径は15㎝ほど。メコノプシス・ブータニカ。この花は以前、メコノプシス・ディスキゲラの一種とされていたが、２０１２年に新種として認定された新参の青ケシである。果実の先端が円盤状（ディスク）で、花の色も咲き始めのラベンダ色から、時間が経つに従い青色に変わってゆく。ブータニカの名が示すように、ブータンの固有種であり、これまではツォ・プーの周囲でしか見つかっていなかった。今回、この後に越えたレディ・ラ（４８００ｍ）の北でも見ることができ、生息域が広がった。

私にはこの花旅の目的がもう一つあった。それは、東日本大震災の年に亡くなった母の遺灰を散骨することである。生前、花が好きだった母のために、高山植物を撮るようになったことが私の花旅の起点である。そして、このブータニカの元に遺灰を埋め、花を墓守にした。